障害者雇用について

議員　①障害者雇用の実態と法定雇用率の引き上げに伴う笠岡市の対応とともに、業者への周知、啓発などの取り組みについてもたずねる。

②現在の厳しい社会経済情勢において、障害者のみならず一般の雇用環境も非常に厳しい現実がある中で、笠岡市の第3次障害者福祉計画において、一般就労への移行についてどのような目標を設定しているのか、またその目標の達成に向けての取り組みについてたずねる。

市長　①井笠管内の障害者雇用率は、平成23年6月1日現在で1・87％であり法定雇用率に対し0・07％上回っている状況である。

笠岡市では、サンライフ笠岡での講演を通じた啓発等を行っており、今後についても機会を捉えて事業者に対して積極的に行っていきたい。

②平成26年度末の一般就労への移行者数を10人に目標設定している。

今年の7月から障害者就労支援プランナーを採用した。また、ハローワーク等との連携を強化し障害者の一般就労に向けて積極的に企業を訪問し、目標達成に向けて取り組んでいる。

ほかに★防災対策★十一番町公園の有効利用★いじめ問題について質問しました。

希望クラブ

質問者　竹原泉
所属議員　奥野泰久

貧困問題について

議員　①現在の笠岡市における貧困防止のためのセーフティーネットはどのような内容か。

②笠岡市の雇用促進政策はどんな内容か。

市長　①笠岡市のセーフティーネットとしては、経済的な生活困窮者に対しては、生活保護制度の活用が第一である。次に、短期的な経済的困窮者に対しては、つなぎ資金貸付制度等の融資制度を設けて困窮者の早期自立に向けた対応・援助を行っている。また、社会的弱者や生活困難者に対するセーフティーネットとしては、笠岡市独自の福祉の砦という組織を構築して対応している。

②笠岡市の雇用促進政策については、大学4年生を対象とした井笠地域での企業の面接会の実施等による学生と企業の出会いの場の提供・新たに新規学卒者を常用雇用した事業者に対して、新規学卒者1人につき10万円を交付する等の奨励金等による支援・チラシの配布、広報かさおか、市のホームページ等での雇用情報の提供による支援の施策を実施している。

駅前周辺の商業地域の活性化について

議員　①前回の答弁の中で平成24年度から25年度にかけて、商工業を中心とした戦略的ビジョンを作成する予定である、とのことであったが、その内容とはどのようなものか。

②この駅前地域を中心とした商業地域をどう活性化していくのかということに関してのビジョンを持っているのか。

市長　①笠岡市の産業振興ビジョンについては、将来の笠岡市の産業の姿を描き、それに向かっての方策を具体的に明記したものを考えている。産業振興ビジョンの策定に当たっては、本市の産業状況の基本的な情報整理を行いながら、市内事業者からヒアリング調査を実施し、笠岡の産業の魅力や課題を整理していきたい。

②第6次笠岡市総合計画にあるとおり、商店街のにぎわいが必要であると考えている。そのために、商店街や商工会議所等関係機関と連携をとりながらビジョンを策定していきたい。

議員　今後の商店街の活性化に対する市長の考えをたずねる。

市長　後継者不足等、様々な問題がある中で、やはり最終的には、商店街のにぎわいの創出を目標に進めていくべきであると考えている。

駅前周辺の商店街